

2年ぶりの選手権大会を迎えて

～第103回全国高等学校野球選手権秋田大会 開幕～

秋田県高等学校野球連盟

会長 尾形徳昭

おはようございます。皆さんが待ちに待った、あこがれの甲子園を目指す大会が、いよいよ今日から始まります。コロナ禍で多くの制約を受けながらも、皆さんは、うがい・手洗いの励行、手指消毒の徹底、マスクの着用、三密の回避など、自分たちでできる感染予防策を習慣化させながら、これまで大好きな野球を続けてきました。暑い日も寒い日も、雨の日も風の日も、厳しい練習に耐えてきました。「コロナだからできない」ではなく、「コロナでもできる」ことを考え、これまで同様直向きに努力してきました。あこがれの甲子園を目指すことができなかった、去年の先輩方の思いも背負って練習に励んできました。そして、いくら好きな野球とはいえ、時には心が折れそうになったこともあったのではないのでしょうか。そのような皆さんをいろいろな面で支えてくれた方々への感謝の気持ちを込めて、どうぞ精一杯プレーしてください。緊張することなどありません。これまで日々取り組んできたことをやり遂げてください。今年はスタンドに、たくさんではありませんが、皆さんの背中を後押ししてくれる学校の仲間がいます。心の声と拍手で応援してくれています。君たちの一生懸命を期待しているのです。君たちの成長した姿に出会いたいのです。そして、ともに笑い、泣き、感動したいのです。晴れの舞台は君たちのためにあります。思う存分投げて打って走ってください。参加41チーム登録部員1600名全員の健闘と絆に期待しています。

最後になりましたが、大会の開催にあたり、これまで御尽力を賜りました秋田県医師会、秋田県教育委員会をはじめとするすべての皆様に感謝と御礼を申し上げまして開幕の挨拶といたします。

2021年7月9日

追記

今年の大会は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止しながらも、スタンドへは可能な限り観戦者を入場させる運営を行って参ります。観戦される皆様には、健康観察や検温、手指消毒など、お願いする内容が多々あり、御不便をおかけいたしますが、趣旨を御理解の上、御協力をお願いいたします。